

スウェーデン再発見

ニルスと旅する

NILS HOLGERSSON'S UNDERBARA RESA GENOM SVERIGE

スウェーデン



今から100年以上も前、

小学校の地理の副読本として書かれた「ニルスのふしぎな旅」。

スウェーデンでは誰もが幼い頃に読み、心に刻む大切な物語です。

今や環境先進国、福祉大国と呼ばれ、

女性の社会進出や教育面でも注目を集めるスウェーデンを

支え続けてきたものは何なのか…。

物語を読み解きながら、その根底に流れる

「スウェーデンの力」を探ります。

監修：齋藤惇夫

作家・児童文学者。福音館書店の専務取締役（編集責任者）として子どもの本の編集に携わり、2000年に退社、創作活動に専念。著書に『グリックの冒険』（岩波書店・日本児童文学者協会新人賞受賞）、『冒険者たち』（岩波書店・国際アンデルセン賞優良作品賞受賞）、『ガンバとカワウソの冒険』（岩波書店・野間児童文芸賞、国際アンデルセン賞優良作品賞受賞）などがある。

最終回 〈スウェーデンの力〉

最高の教科書



「ようやくニルスが勇気をだして下をちらっと見てみると、そこにはチェックの模様の大きな布地がひろがっていました。（中略）まず、くつきりとした緑の格子は、去年の秋に種をまき、青い芽が雪の下で冬をこしたライ麦畑です。黄色っぽい灰色の格子は、去年の夏に刈った穂の跡がそのまま残っている麦畑。茶色っぽく見えるのは、枯れたクローバーの原っぱ。黒いのは牧場の跡地か、掘り起こしたばかりの休耕地。黄色いふちどりのある茶色い格子は、きつとブナの森でしょう。」

（上巻35頁）

眼下に広がる、バッチワークのような穀倉地帯：日本で放映されたアニメーションのタイトルバックにも使われたこのシーンを読むと、まるで自分が鳥の背に乗って大地を見下ろしているよ

うな気持ちになります。そして、飛行機などまだまだ身近ではなかったこの時代に（※1）、鳥の視線を持ってこの物語を描いた著者、ラーゲルレーヴの想像力と表現力の素晴らしさに驚かされます。

チェックの布地に見えたのはスコーネ地方の穀倉地帯。スモーランド地方は3段の階段に例えられています。蝶の形をしたエーランド島、お母さんの前かけのしま模様みたいに見えたヴェストマンランド地方の光景、大河の成り立ち：スウェーデンの地理や自然産業、歴史を、ラーゲルレーヴは見事にこの冒険物語の中に織り込みました。また、地方ごとの人々についても、印象深く描いています。

「こうして神さまは、迅速で、質素で、快活で、勤勉で、寛容な、

旅の途中で、ニルスはこうつぶやきます。

「ぼくの国スウェーデンって、本当にすごいね。」（下巻269頁）

最高の物語



「私が持っている創造力のすべてをこの本で試すと、私はあなたに誓いましょう」と、ラーゲルレーヴは執筆にあたり、友人に手紙を送っています（※2）。教科書としても、物語としても、最高のものを子どもたちへ贈りたい：約6年という長い歳月を費やし、真心を込めて書き上げられた「ニルスのふしぎな旅」。この100余年間、スウェーデンの子どもたちは、ニルスと一緒に旅をしながら、自国についての興味と誇りを育ててきました。そして、知恵や勇気を身につける大切さ、自然とともに生きる重要さに気付きながら、ニルス同様、大きく成長してきたのです。誰もが胸を張って生きていける明日を作っていくために――。

「ニルスのふしぎな旅」を通して、



スウェーデンという国を見つめ直してきたこの連載も、今号が最終回です。ラーゲルレーヴが夢見た「自国の未来」――現在スウェーデンは、平和と福祉、教育、環境等を世界に誇る国となりました。この100余年間、スウェーデン国民が数々の分岐点で選び取ってきた「答え」の多くが、この一冊の本の中に詰まっています。ラーゲルレーヴの思いは、この後「長くつ下のピッピ」の著者であるアスト

Present



訳者・菱木晃子さんのサイン本を上・下巻セットにして、抽選で1名様にプレゼントいたします。一昨年『ニルスのふしぎな旅』生誕100周年を記念し、新訳で甦った珠玉の冒険物語です。ご希望の方は、同封のコミュニケーションカードか官製はがきに、ご希望の賞品名・住所・氏名・年齢・電話番号・メールアドレスを明記の上、ご応募ください（5月10日消印有効）。官製はがきでご応募の場合、P26の「お便り募集」の宛先までお願いいたします。なお、当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

※文献は福音館書店発行、セルマ・ラーゲルレーヴ作「ニルスのふしぎな旅」上（下巻）（菱木晃子訳）によります。

※1：ライト兄弟が動力飛行機による初飛行に成功したのは1902年。ラーゲルレーヴに「ニルスのふしぎな旅」が正式に依頼されたのと同年。
※2：親友であるソフィー・エルカンに宛てた書簡（菱木晃子訳）。